

文部省検定済教科書
高等学校国語科用

175 尚学 現語 505

現代語



尚学図書

現代
語

江苏工业学院图书馆
藏书章

尚学
圖書

別記著作者

東京芸術大学客員教授

大岡 信

学習院大学教授

徳川 宗賢

宇都宮大学教授

長尾 高明

東京大学教授

野山 嘉正

宇都宮大学教授

小池 清治

東京学芸大学附属
高等学校教諭

五十嵐 一郎

航空工業高等専門学校
名誉教授

大野 正重

元跡見学園女子大学
教授

鈴木 亨

横浜雙葉高等学校教諭

千葉 拓司

三田高等学校教諭

戸田 雅子

伊奈学園総合高等学校
教諭

宮里 政充

現代語

定価

文部大臣が認可し
官報で告示した定価
(上記の定価は、各教科書
取次供給所に表示します)

平成十年一月十日 印刷
平成十年一月二十日 発行

著作者

大岡 信
徳川 宗賢
長尾 高明
野山 嘉正
ほか七名(別記)

発行者

東京都千代田区神田神保町二二三〇

株式会社 尚学図書

代表者 中條 富夫

東京都千代田区神田和泉町一番地

凸版印刷株式会社

代表者 藤田 弘道

発行所

株式会社 尚学図書

電話

編集 (03) 三三三二四五六
制作 (03) 三三三〇一五三三
販売 (03) 五二八一 一六二六

175 尚学 現語 505

本書の指導書、ワークブック、
注釈書並びにこれに類する一切
のものの無断発行を禁ずる。

平成 5 年 3 月 31 日 文部省検定済

本文写真——朝日新聞社 OPO オリオン 共同通信 木挽社 時事通信 世界文化フォト
日本近代文学館 ポンカラー

✦ 目次

I 日本語の特徴

―― 一 音韻と表記 ――

①	ドッグの反対は？	【日本語の拍】	6
□	研究 □ 「箸」と「橋」	【アクセント】	10
②	謎めいて そのくせ元氣いっぱいな	【五十音図】	12
③	四種類の道具	【日本語の表記】	15
④	「わかる？」「わかる。」	【符号と句読点】	19

二 日本語の語彙

- | | | | |
|----|-------------------|---------|----|
| 1 | 目には青葉 | 【生活と語彙】 | 24 |
| 2 | 好きな言葉のウラオモテ | 【和語と漢語】 | 28 |
| 3 | ごはんとライス | 【外来語】 | 35 |
| 4 | 「たこ」というのは「いか」のことだ | 【方言】 | 42 |
| 研究 | キシャのキシャ | 【同音異義語】 | 46 |

三 日本語の文法

- | | | | |
|----|----------------------|----------------|----|
| 1 | 「his」と「彼の」 | 【付属語の役割】 | 48 |
| 2 | 雨ニモマケズ | 【文末決定性】 | 54 |
| 3 | 横線の引かれた厚手の白い紙 | 【修飾語の順序】 | 60 |
| 4 | 足があるくよ | 【語結合（コロケーション）】 | 66 |
| 5 | 「私はうれしい」が、「彼はうれしい」か？ | 【主観的表現と客観的表現】 | 69 |
| 研究 | 見える | 【文法のゆれ】 | 76 |

II 言葉と生活

.....

79

①	本当の名前は？	【分類と記号】	80
②	「綾子、くよくよするな。明日があるさ。」	【言語の機能】	85
③	彼はうそをついた	【事実と意見】	90
④	けんかしないために議論を	【議論と論証】	96
⑤	奥さんがいらつしやいました	【敬語のはたらき】	107
⑥	牛になれ	【手紙】	112
⑦	電話の声はニュートラル	【電話】	119
⑧	あなたは一分間に何字？	【話す速度 話し方】	123

「参考」現代語への歩み

.....

129

1	表記	130
2	語彙	132
3	言文一致の試み	134
4	共通語の確立	136
5	文法	138

「現代語」を学ぶにあたって

「現代語」学習の目的は、日本語への認識を深めることにあります。日常生活においては半ば無意識に用いている言葉も、改めて考えてみると、いろいろ気づかずにいることが多いものです。「現代語」は、そうした現代の日本語に関する種々の事項をとりあげ、さまざまな方面から日本語について考察して、言葉を的確に理解し適切に表現する力を養うことが最大のねらいです。

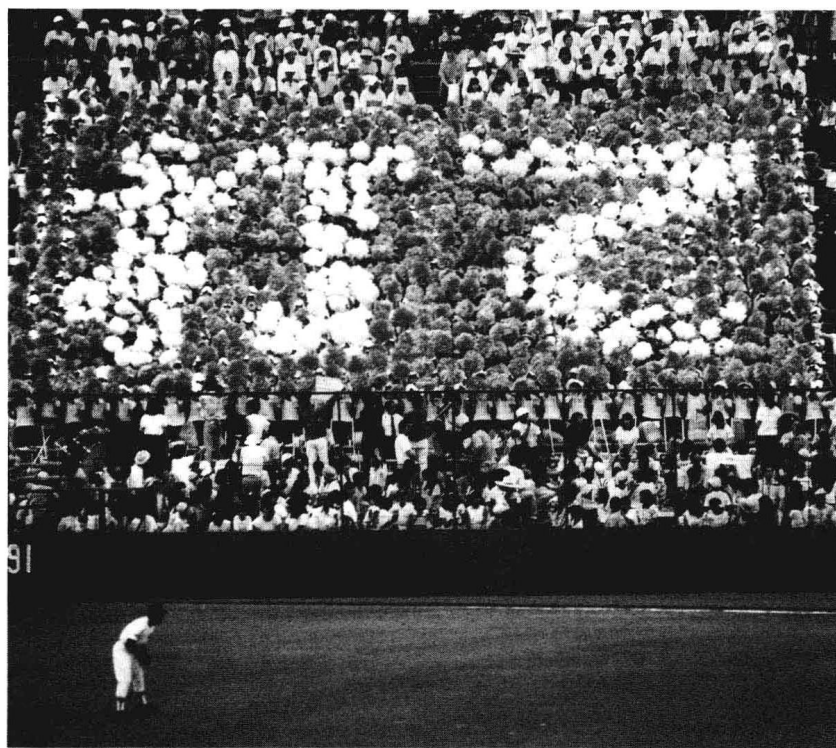
言葉に関する学習では、単なる知識や実用的技能の習得だけではなく、言葉の問題点を自ら考えるという姿勢を持つことが最も大切です。それが言葉の力を高めることにつながるのです。

教材は、おもしろく読める内容にするよう努めました。いわば、教材は、日本語について考えるための手がかりになる資料です。

教材の内容を一つの出発点として、日本語に関する考察を展開することが望まれます。そのため、教材の後につけた「学習」は、そうした発展的な問題を主にしてあります。

I

日本語の特徴



一 音韻と表記

1 ドッグの反対は？

【日本語の拍】

例えば「春」という語は「ハ」と「ル」からできている。その「ハ」は更に「h」と「a」からできているとも言えるが、普通、日本語では「ハ」と「ル」がいちばん小さい音の単位だと意識される。この、いちばん小さい音の単位を「拍はつ」と呼ぶ。日本語の拍は、日本語の特徴を示す一つの要素であり、多くは仮名一字に相当する（拗音は仮名二字で表す）。

小学生などが俳句を作ろうとして、五・七・五になるように指折り数えながら言葉を考えている姿も見かけるが、その場合の五つ、七つという数が拍の数である。

例えば、「幼稚園」と「小学校」とがそれぞれ何拍になるか、指折り数えながら発音してみる。「ようちえん」の「う」の部分は、前の「よ」の母音がのばされているのだが、一つ

分の時間を取っている（ゆっくり発音しようとする）、この場合は「オ」と発音したのとは同じになる。「ん」も一つ分であり、「幼稚園」は「ヨ・ウ・チ・エ・ン」で五拍になる。また、「しょうがつこう」では、小さい「つ」で書かれた部分は何も音になっておらず、子音「k」を発音する口つき（次の「こ」を言うための準備）になっているだけであるが、一つ分の時間を取っている。したがって、「小学校」は「シヨ・ウ・ガ・ツ・コ・ウ」で六拍の言葉になる。

このように、日本語では、長音・撥音・促音も、他の音とほぼ同じ長さを持つ発音になり、それぞれ一拍に数えられるのである。

外国人に日本語を教える教師が、日本語の拍について理解させる方法として、拍の数だけ手をたたきながら発音させる、という指導方法をとることも多いようである。外国人の中には、日本語の拍が理解しにくいという人もいるらしい。長音・撥音・促音などを他の音とほぼ同じ長さで発音するという点が、うまくできないというわけである。そのため、拍の数だけ手をたたいて発音練習をするという方法が試みられるのだという。

①金田一春彦氏が自分の体験をもとに書いた文章の中にも、外国人が日本語の拍を理解することは難しいらしいと述べている箇所がある。例えば、「討論」という言葉は、日本人なら

①金田一春彦

（一九一三）国語学者。東京都生まれ。「日本語 新版（上）」は一九八八年刊。

四拍と数えるのが当然なのだが、アメリカ人などには「トウ」「ロン」で二拍になると考える者も多いという。また、「日本^{にっぽん}」というような言葉はうまく発音できず、「ニポン」のような言い方になることが多いという。つまり、長音・撥音・促音を独立した拍にしないで、前の拍といっしょにして発音してしまうのだと説明している。そうした指摘をした後に、金田一氏は、また、逆に日本人が外国語を誤解することもあると言って、次のような例をあげている。

こんなことから、日本人は逆に外国語の拍を誤解する。「犬」を英語でドックだと聞くと、これはド・ツ・グという三拍のように思ってしまう。ところが、イギリス人にはドックは全体が一拍なのだ。ドックをさかさまにしたら何と言うかと尋ねると、びっくりしたような顔をしている。グッドなどとは夢にも思わない。日本人が向こうのドックを三拍のように思うのは、日本語の習慣を勝手に向こうの言語に流用しているからにすぎない。

（日本語 新版（上））

〔学習〕 一 次の語はそれぞれいくつの拍から成っているか。確かめてみよう。

- | | | | | | |
|---|------|---|----|---|-----|
| 1 | 叔母さん | 2 | 故郷 | 3 | 病院 |
| | お婆さん | | 国境 | | 美容院 |

二 仮名で「かいた」と書くと、例えば「書いた」という言葉になるが、これをさかさまにして「たいか」とすると、例えば「大火」というような、別の言葉になる。日本語の拍は一つ一つがほぼ同じ長さの時間を取って独立して発音され、しかも、原則として一つの仮名で表記されるから、このように、一つの言葉を逆に読んでも、意味のある言葉になることがある。

こうしたことを利用した言葉遊びの一つに、上から読んでも下から読んでも同じになる文（これを回文^{かえん}という）を作るといふ遊びがある。例えば、

たけやぶやけた（竹藪焼けた）

というような例である。他にもどのようなものができるか、考えてみよう。

□研究□

「^{はし}箸」と「橋」

『アクセント』

一般に、アクセントとは、個々の単語における、発音の強弱または高低の配置をいう。

日本語のアクセントは、音の高さによるものであり、「高低アクセント」と呼ばれる。下に示したのは、共通語とされる東京語のアクセント（東京式アクセント）の型をまとめた図表であるが、これでわかるように、東京式アクセントにはおよそ次のような特徴がある。

- ① 高・低の変化は、一つの拍から次の拍へ移る時に起きる。一つの拍内では高さが変化しない。
- ② 第一拍と第二拍とでは必ず高さが異なる。
- ③ 高い音が二か所に分かれて現れることはない。つまり、高い音から低い音に変化した後は、再び高い音になることはない。

なお、下の図表にも示したように、一拍の語にもアク

東京式アクセントの型（名詞＋助詞「が」）

	1 拍の語	2 拍の語	3 拍の語	4 拍の語	5 拍の語
平板式	 ヒ(ガ) (日)	 ハナ(ガ) (鼻)	 コドモ(ガ) (子供)	 トモダチ(ガ) (友達)	 アカンボウ(ガ) (赤ん坊)
起伏式	尾高型	 ハナ(ガ) (花)	 オトコ(ガ) (男)	 オトート(ガ) (弟)	 オショウガツ(ガ) (お正月)
			 オカシ(ガ) (お菓子)	 センセイ(ガ) (先生)	 ガラスマド(ガ) (ガラス窓)
				 アサガオ(ガ) (朝顔)	 ナツヤスミ(ガ) (夏休み)
					 オカーサン(ガ) (おかあさん)
	頭高型	 ヒ(ガ) (火)	 アサ(ガ) (朝)	 イノチ(ガ) (命)	 カマキリ(ガ) (蟻螂)
				 オツキサマ(ガ) (お月様)	

(●は名詞を構成する拍、○は助詞の拍)

セントの区別がある。それは、次に続く助詞とのかかわりに高低の違いが生まれるためである。便宜上、高く発音される拍に傍線をつけて示すと、例えば「日がのぼる」と「火が燃える」とでは、「ヒが」の部分が、

日が ヒガ

火が ヒガ

というように発音される。これは二拍以上の語でも同様である。例えば、東京語の「箸」「橋」「端」のアクセントは、

箸 ハシ

橋 ハシ

端 ハシ

となり、これだけでは「橋」と「端」とは同じアクセントのようにみえるが、助詞の「が」をつけると、

橋が ハシガ

端が ハシガ

というように違いがある。このように、仮名で表記すると区別がつかない語の違いを示すのも、アクセントのは

たらしきの一つである。また、アクセントは、語や文節のまとまりを示すはたらしきもある。例えば、「乗り遅れる」と「海苔をくれる」とは、

乗り遅れる ノリオクレル (一文節)

海苔をくれる ノリヲクレル (二文節)

のようにアクセントで区別される。前にあげた②③の特徴があるので、高い音が二か所に分かれて現れれば、それが二語（または二文節）であるということがわかるのである。

なお、アクセントは、地方によって違いがある。例えば、東京では、右に示したように、「箸」は「ハ」を高く「シ」を低く発音し、「橋」は「ハ」を低く「シ」を高く発音するが、京都では逆になる。

2 謎^{なぞ}めいて そのくせ元氣いっぱいな ン【五十音図】

①^{たにかわしけんたろう}谷川俊太郎の「五十音図」という詩に次のような一節がある。

アイウエオ

カキクケコ

途方もなく快活な五十音図が

謎めいて

そのくせ元氣いっぱいなんで終^おつてしまつて

そこからぼくの

言葉が

虚空に散乱した

①谷川俊太郎

(一九三一—) 詩人。

東京都生まれ。主な

詩集に「62のソネツ

ト」「愛について」な

どがある。「五十音

図」は詩集「そのほ

かに」(一九七九年

刊)に収められてい

る。

作者は、母音と子音との規則的配列を美しいと感じ、「快活」とも感じて、五十音図を詩の

場合はザ行の「じ・ず」と同じ音である。「ちやのみぢやわん（茶飲み茶碗）」「いっぽんぢようし（一本調子）」などの「ぢや・ぢよ」も発音は「じゃ・じょ」と同じになる。

ここに示した表以外にも、促音や長音、あるいは、外来語に使われる音や、地域によって微妙に異なる音などを加えていけばもう少し多くなるのだが、こうして数えてみても、日本語の拍は比較的少ないと言えよう。

〔学習〕

「ヴァイオリン」「フィルム」など、右の表にあげた音以外にも、日常使われている音がある。どのようなものがあるか、いくつかあげてみよう。また、それらについて、五十音図の形式にならって、ア・イ・ウ・エ・オの各段にあてはまるものがあるかどうかを確かめてみよう。